



じゃあ配信はじめるね〜

また寝坊しちゃったけど  
どうせまたしちゃうと思うから  
あやまりませ〜んw



え?

え?



い……



なにコレ?  
こわ……

さっきので体が  
しびれて動けない……

「こんなこととして、絶対許さない  
刑務所ぶち込んでやる」

「つまり許す許さないは  
こっち次第ってワケ」

「キミのキミの  
キミのキミの」

おしー

「おじさん舌の長さには自信あるんだ」

「なんか勘違いしてるようだねシオンちゃん」

「これは何回遅刻しても反省しない  
キミへのおしおきなんだよ」

「そうだよね。最初は気持ち悪いよね  
でもこの薬を使えば  
すぐに気持ちよくなるよ」

「そういう意味じゃ……薬？」

ちよっ  
これヤバイッ……



それから薬で感度を  
上げられたアナルを様々な  
道具でいじられ続けた

「このくらいほが引っかかって気持ちいい  
わーっ」

「コレは回転するんだよー面白いでしょう」

「しょうがない。一旦全部出すね」

「全部入るまで  
チャレンジしてみようねえ」

「ん〜後一個が入らないねえ」



「わ、わかった  
反省します！もう寝坊しないから許して！」

「そうだ！  
今やめてくれたら今度申出しHしてあげるっ！」

「そういうことはシ○ンちゃんが  
本当に好きになった人としてほしいな」

「は？」

「マジでフザケンなクソジジイ！！  
うう…おなが…」

「ちなみにこの液体徐々に固まっていくから  
早く出したほうがいいよっ！」

「このままじゃ病院で診てもらわなきゃ  
なっちゃうよ！頑張れ頑張れ！」

「え…ちょ…う…うそでしょっ！」





「みんなシン○ンちゃんの配信待ってるんだから……」

「これに懲りたら今度からしっかり起きようね」













さっきので体が  
しびれて動けない……

「こんなこととして、絶対許さない  
刑務所ぶち込んでやる」

「つまり許す許さないは  
こつち次第ってワケ」

「なんか勘違いしてるようだねシ〇ンちゃん」

「これは何回遅刻しても反省しない  
キミへのおしおきなんだよ」

「!？」

むわあ



「キモいキモいキモいキモい!!」

おしり...

「おじさん舌の長さには自信あるんだ」

アーン!!

「そうだよな。最初は気持ち悪いよねでもこの薬を使えばすぐに気持ちよくなるよ」

「そういう意味じゃ...薬？」

ちよっ  
これヤバいッ...

アーン!!

アーン!!

それから薬で感度を  
上げられたアナルを様々な  
道具でいじられ続けた

「このいぼいぼが引っかかって気持ちいい  
でしょう?」

「これは回転するんだよ!!面白いでしょう」

♡♡のときさくらんぼ...

♡♡のときさくらんぼ...  
♡♡のときさくらんぼ...

♡♡のときさくらんぼ...  
♡♡のときさくらんぼ...



「わ、わかった  
反省します！もう寝坊しないから許して」

おぼおぼ

おぼおぼ...

「そうだ!!  
今やめてくれたら今度中出しHしてあげるっ」

おぼおぼ...

おぼおぼ...

「そういうことはシ○ンちゃんが  
本当に好きになった人としてほしいな」

「は？」

おぼおぼ

おぼおぼ

おぼおぼ...

「マジでフザケンなクソジジイ!!  
うう…おなかが…」

「ちなみにこの液体徐々に固まっていくから  
早く出したほうがいいよ?」

「え…ちよ…り…うそでしょっ!!」

「このままじゃ病院で診てもらわねえとだ  
なっちやうよ。頑張れ頑張れ!」





「みんなシン○ンちゃんの配信待ってるんだから……」

「これに懲りたら今度からしっかり起きようね」